

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	非常用可搬型外部給電器配備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市地域防災計画		
目的	大規模災害時における避難所の停電対策の充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	災害時に停電が発生した場合における避難所の電力確保のため、電気自動車から電力供給を行えるように非常用可搬型外部給電器を配備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	配備台数	台
			実績	2	2	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
事業費（千円）	1,320	1,229	660			
財源内訳						
一般財源	1,320	857	660			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	372	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77			
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	1,400	1,306	737			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度からクリーンエネルギー自動車導入促進補助金（186千円/1台）を活用し、2台購入した。	—

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
	本事業は、災害時の避難所における電力確保のため、給電器を配備するものであり、市で所有している庁用車（電気自動車）の台数（8台）を上限に購入することとしている。 令和5年度は1台購し、上限の8台が配備される予定であるため、今後は、庁用車（電気自動車）の台数を注視しながら、縮小・見直しを検討する。			
	今後の方針 コスト			
	成果	向上	維持	低下
		○		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	避難誘導標識建替事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係	内線	335
	根拠法令等	武蔵村山市第五次長期総合計画				
目的	市内22箇所に設置されている避難誘導標識のうち、さび等の劣化がみられる20箇所の建替工事を実施する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	劣化がみられる20箇所の避難誘導標識について建替工事を実施した。なお、建て替えに伴いL型道路標識からF型標識への意匠変更を行ったほか、表示内容にピクトグラムを追加した。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	避難誘導標識建替箇所	箇所	目標	—	20	—
				実績	—	20	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	924	0			
国都支出金	—	0	—			
その他	—	0	—			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	918	0			
所要人員(人)	0.00	0.12	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	0	1,842	0			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
20箇所の避難誘導標識の建て替えを実施した。	—

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
令和4年度に、道路上に設置されている避難所への避難誘導標識のうち、経年劣化に伴い建替工事が必要となった20箇所について、維持管理及び追加設置の可能性を考慮し、L型道路標識からF型標識へ仕様の変更を行うとともに、より分かりやすくなるようピクトグラムを標記した標識に更新した。経年劣化による危険な標識の更新作業が完了したため、事業を終了する。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市ブロック塀等安全対策費用助成金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の安全の確保及び災害に強いまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	避難路に面している危険なブロック塀等を安全な状態にするために行うブロック塀等の撤去、建替工事に係る費用の一部を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	助成件数	件
			実績	2	4	
			達成率	20%	40%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	586	1,763	8,283		-
一般財源	147	443	1,334		
国都支出金	439	1,320	6,949		
その他	0	0	0		
人件費	958	918	924		他市等の状況 多摩地域26市中20市が同様の助成事業を実施している。除却のみを対象としている市もある。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	958	918	924		
所要人員（人）	0.12	0.12	0.12		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,544	2,681	9,207		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 1,763
市補助金	-	-	-	-	使途内訳
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	0	0	0	0	割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合
	-	-	-	-	—

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数 4件 交付額 1,763千円	本助成金の対象となるブロック塀の撤去、建替工事の実施は、あくまで所有者である市民の判断で実施することとなる。また、工事に際しては、自己負担も生じるため、申請者をどのようにして増やしていくかが課題である。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、避難路に面しているブロック塀等の倒壊防止対策を図るために行うものであり、地震発生時における市民の安全確保につながるため、令和5年度も継続して実施する。
また、補助金額等の見直しについては、国庫補助、都補助の状況を注視し検討していく。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路雨水吸込槽浚渫事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	浸透槽の設置により雨水を処理しており、その浸透施設に溜まる汚泥や落ち葉などを定期的に清掃することにより雨水排水の改良を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	浚渫を必要とする浸透施設は125施設あり、そのうち主要施設は49施設で、毎年2回実施している。また、新設及び開発行為に伴う移管施設は76施設あり、3年に1回のローリングで実施している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	浚渫工及び汚泥処分（一式）	件	目標	1	1	1
				実績	1	1	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		13,996	14,045	15,454
財源内訳	一般財源	13,996	14,045	15,454
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		14,794	14,810	16,224

市民・議会等から寄せられた意見	
中小の浸透施設は必要に応じて浚渫を実施しており、浚渫要望（冠水による苦情）は市民や議員より適宜受け付けている。	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か 市民のニーズに適合しているか 市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●主要施設49箇所（年2回） ●新規・移管施設21箇所（年1回）	住宅開発に伴い、施工主による施設の設置後、その施設が市へ移管されるため、市の管理件数は毎年増加している。このため必要経費は増加し続ける。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 道路より地盤が低く冠水の発生しやすい箇所が多数存在するため、浚渫により排水施設を十分に保守する必要性は高い。 一方、道路に設置した浸透施設の作業状況を確認する限り、年2回の浚渫を実施するほどの汚泥やゴミが認められない箇所もあり、作業頻度の見直しを図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水対策事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
目的	近年の集中豪雨に伴い発生する道路冠水や住宅浸水の被害を軽減することを目的としている。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	道路冠水箇所に貯留型雨水浸透槽や浸透柵等を設置することにより、小規模な街区単位での浸水被害の軽減を図っている。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	冠水又は浸水等の被害が発生する道路等の改修件数	件
			実績	2	12	
			達成率	100%	600%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		7,655	8,111	8,000	
財源内訳	一般財源	455	911	800	
	国都支出金	7,200	7,200	7,200	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	798	765	770	
	所要人員(人)	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		8,453	8,876	8,770	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民とのニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●雨水集水柵浸透化工9箇所14基設置(3,344,000円) ●側溝改修工3箇所(3,523,129円) ●水路蓋掛替工1箇所1枚(1,093,092円) ●水中ポンプ購入費(150,260円)	公共雨水管が未整備の道路においては、原則、道路用地内に設置する浸透施設で雨水を処理する。 しかし、狭い道路は整備に必要な場所を確保できないことや、そもそも雨水量が多く、浸透施設による雨水流出への対処に苦慮する地域もあるため、時間と費用を要する。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、道路冠水等の被害の軽減を図る重要な取組であることから、今後も継続していく。 排水施設等の設置に当たっては、冠水等の被害状況等を勘案しながらその周辺状況や地形等を考慮し、最大の効果が発揮されるよう、整備すべき道路の施工箇所を決定して解消を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上	削減	維持	増加																		
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 84号線雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	-		
目的	当該路線には排水施設が未整備であることから、本事業により大雨時に発生する道路冠水の解消を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	区間：大南四丁目45番地先から同56番地先まで 延長90.0m、幅員4.0mに排水及び浸透施設を設置するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	排水施設設置工事（一式）	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		80	77	77

市民・議会等から寄せられた意見

令和3年度及び令和4年度に、それぞれ1件の市民要望を受け付けている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	当該路線は、公共雨水管が未整備であるため、浸透施設を設置して冠水の解消を図るものである。 浸透の能力は地盤に左右されるが、付近一帯の地下の地盤は浸透能力が不足すると思われることから、通常の施設規模による対応では目的の達成は困難である可能性がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、道路冠水の解消を図る重要な取組であることから、引き続き実施計画事業として要求し、「実施」として採択され次第、本事業の実施により道路冠水の解消を図る。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 防災食育センター整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	学校給食センター 560-2597
	根拠法令等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
目的	災害時には応急給食の調理や救援物資(食料関係)の集配などを行う防災拠点として機能し、平常時には小学校給食の調理や食育推進のための事業などを行う(仮称)防災食育センターを整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	整備予定地内の既存施設を解体し、建築工事に着手する。また、備品整備基金の積立てを行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	施設整備工事の執行率 (工事総額に対する当該年度実績額の割合)	%	目標	—	6.5	13.2
				実績	—	7.3	
達成率				—	112%		
2	防災食育センター備品整備基金の積立額 (年度末積立総額)	千円	目標	137,000	160,000	180,000	
			実績	137,000	160,000		
			達成率	100%	100%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		106,420	323,186	651,327
財源内訳	一般財源	20	186	32
	国都支出金	62,900	248,000	493,495
	その他	43,500	75,000	157,800
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	7,976	7,642	7,692
	所要人員(人)	1.00	1.00	1.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		114,396	330,828	659,019

市民・議会等から寄せられた意見	
市議会定例会や教育委員会定例会において、各議員等から当該整備事業に期待を寄せている旨の発言があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>建設予定地(第二学校給食センター跡地)内の低濃度PCB廃棄物処分を6月までに完了させた。</p> <p>建築・昇降機・解体工事、電気設備工事、機械設備工事について、工事請負契約を12月に締結した。</p> <p>その後、住民に対する工事説明会を1月25日及び29日に実施した後、解体工事に着手した。</p> <p>また、3月に防災食育センター備品整備基金への積立てを行った。なお、当該基金積立ては、令和元年度に開始し、令和5年度まで実施する予定である。</p>	<p>主な財源となる防衛補助を所管する北関東防衛局との調整はもとより、令和4年度から令和6年度までの継続費で計上している工事請負費等の予算執行について、関係課と随時協議しながら慎重に対応していく必要がある。</p> <p>また、施設整備用備品の購入に当たり、適切な仕様書を調製し、適切な時期に物品購入の契約を締結できるような事務を進めていく必要がある。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
施設整備工事については、防衛補助事業として実施していることから、工事の各工程については実施設計に基づき実施し、突発事項等については関係機関及び関係課と必要な調整を図りながら対応していくとともに、竣工後の準備期間も含めた運営業務を支障なく開始するため、整備用物品が迅速かつ適切な時期に納品できるよう調整を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	防災士資格取得支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市防災士資格取得支援事業助成金交付要綱		
	目的	地域防災力の向上を目的に、防災に関する一定の知識、技術を有する防災士の資格取得を支援する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内の自主防災組織に所属し、該当団体の長から推薦を受けた者又は消防団において分団長以上の階級を務めた経験を有するものを対象に、防災士資格の取得費用を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	資格取得者数	人
			実績	1	10	
			達成率	20%	200%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	9	85	345	市民・議会等から寄せられた意見 議会から、助成対象範囲の拡大の検討について意見があった。							
	一般財源	9	85	345	他市等の状況 多摩地域では、青梅市、稲城市、立川市等で防災士資格取得の助成実績がある。							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462								
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06								
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				488	544	807						

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額（千円） 85							
	会費	-	-	-	使途内訳							
	繰越金	-	-	-								
	事業収入 その他	-	-	-								
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	—							
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	—							
					交付金額に対する繰越金の割合							
					—							

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
助成金交付者：10人	助成額：85,000円（1人8,500円）	本助成制度等について周知しているが、自主防災組織等からの資格取得希望者は少なく、希望者の増加が課題である。	

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

地域防災力向上のため、令和5年度も令和4年度と同内容で事業を継続していく。また、令和4年度同様、本助成制度の周知徹底に努め、資格取得希望者の増加を図るとともに、資格取得希望者数の実績を考慮し、助成対象範囲の拡大等、事業の見直しを図る必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	谷戸川改修整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	-				
目的	護岸に樹木が繁茂し、幹や根の成長により護岸の崩壊が懸念されるため、樹木を伐採して護岸の保全を図るもの。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	場所：中藤四丁目12番地先 工種：樹木伐採工、延長約70m					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	樹木伐採委託（一式）	件
			実績	-	-	
			達成率	-	-	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 平成22年第2回市議会の市道16号線拡幅に関する請願において谷戸川改修整備について要望があった。
事業費（千円）		0	0	1,232	
財源内訳	一般財源	-	-	1,232	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		80	77	1,309	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	当初の要望に対しては、護岸の保全と谷戸川の暗きよ化による生活道路の拡幅整備を検討していたが、拡幅事業は費用対効果を精査する必要があるため護岸の保全のみとし、当面の間は樹木伐採後の護岸の状況を観察する。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、護岸の保全を図る重要な取組であり、実施計画事業として要求してきた経過がある。令和5年度に「実施」として採択されたため樹木伐採費用を計上しており、本事業の実施により谷戸川の護岸を延命することが可能になる。
 なお、樹木の伐採により護岸の劣化はほぼ停止すると考えられるため本事業は終了するが、引き続き護岸の状況を点検していく。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	一般河川整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	河川法				
	目的	市で管理する小河川及び水路について、河床や護岸が未整備である箇所や河川敷から民家へ水が流出する箇所があることから、溢水防止を図るため計画的に整備を実施する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	河床や護岸の打設及び老朽化した部分の改修等を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	河床及び護岸設置工等（一式）	件
			実績	1	6	
			達成率	100%	600%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,238	1,428	2,700	
財源内訳	一般財源	138	228	300	
	国都支出金	1,100	1,200	2,400	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		2,036	2,193	3,470	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民とのニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●残堀川遊歩道車止め更新工事（5箇所10基、計946,000円） ●谷戸川大橋交差点フェンス更新工事（撤去新設5.0m、481,800円） 	市で管理する小河川及び水路には、未改修のため溢水により住民に被害を与えた箇所があり対応を要する。また、護岸の劣化が進行している箇所も散見される。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
小河川及び水路の河床や護岸など既設物件の劣化状況や溢水による被害等を勘案しながら施工箇所を選定して整備を図り、解消する。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団準中型・中型免許取得補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員準中型自動車及び中型自動車運転免許取得費補助金交付要綱		
	目的	消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車及び中型自動車の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	所属する分団に配備されている車両の運転資格の取得費用を補助する。			
対象(交付先)	武蔵村山市消防団員			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助実績	件
			実績	0	3	
			達成率	0%	75%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
補助金	交付金額(千円)	0	292	901		
	一般財源	-	292	451		
	国都支出金	-	0	0		
	その他	-	0	450		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	153	154		
	所要人員(人)	0.00	0.02	0.02		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)		0	445	1,055		

市民・議会等から寄せられた意見

他市等の状況

多摩地区26市中8市が同様の補助事業を行っている。

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額(千円)	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
交付金額(千円)	292
使途内訳	
割合(%)	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある
	持続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
準中型免許(5t) 限定解除 3件	免許取得に係る費用が一旦消防団員の自己負担となってしまうことから、資格取得希望者をいかに増やすかが課題である。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、道路交通法の一部改正に伴い、新たに創設された「準中型自動車免許」を含む、消防団で所有する車両に対する運転資格の取得費用を補助し、消防団活動を安定的に実施するよう図るものであり、今後も継続していく。また、新型コロナウイルス感染症については、感染対策の緩和や感染症法上の5類への移行などにより、影響が弱まっていることから、対象となる消防団員に積極的に周知していく。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防火水槽整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	震災時の消防水利整備基準		
目的	水利不足地域への防火水槽の設置を実施し震災対策を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	災害時には消火栓等の水道管を経由する水利の使用不能が見込まれることから防火水槽を整備し震災時の不足メッシュを解消する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	防火水槽の設置件数	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				26,040			23,727			25,941			
財源内訳	一般財源			5,040			4,627			1,641			
	国都支出金			0			0			0			
	その他			21,000			19,100			24,300			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			2,393			2,293			2,308			
	所要人員（人）			0.30			0.30			0.30			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
所要人員（人）			0.00			0.00			0.00				
合計（事業費+人件費）				28,433			26,020			28,249			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
プリンスの丘公園に40t級の防火水槽を設置した。	—

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
災害時に水道施設の破損等が生じた場合など、断水時の消防水利確保のため、公園等に防火水槽等消防水利を整備するものである。設置に当たっては、民地は土地所有者の事情で撤去の可能性が想定されるため、公共施設用地を想定し、令和5年度までは設置候補地が決まっている。令和6年度以降は設置場所の検討を進めていく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火栓改修事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	上水道における消火栓の設置、維持補修等に関する協定書 上水道における消火栓補償費に関する覚書		
	目的	消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東京都水道局による上水道への消火栓の設置、維持管理等に関する費用について補償する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	消火栓の設置等の実績	件	目標	—	—	—
				実績	8	9	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		15,050	28,533	33,264	
財源内訳	一般財源	15,050	28,533	33,264	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		17,443	30,826	35,572	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
消火栓の移設2件、補修6件、撤去1件となった。	東京都水道局が行う水道工事に係る消火栓管理費補償金及び消火栓設置費補償金を負担するものであり、毎年度、水道局から事業計画に基づき消火栓補償費が提示される。しかし、工事費の上昇等により補償費が増加傾向にあるため、予算額との調整が課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図るものであり、老朽の激しいものから順次補修を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 3 交通安全				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
	目的	小学校の通学路について、毎年関係機関等（警視庁・学校・PTA・教育委員会、防災安全課及び当課）による合同点検を実施し、その改善要望を勘案して交通安全施設を整備することにより道路環境の改善を図る。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	通学路合同点検等によって抽出された危険性のある交差点等に①カラー舗装、②道路反射鏡、③自発光板、④外側線、⑤段差等解消等の工事を施工する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	道路反射鏡設置工	箇所	目標	20	10	4
							実績	16	3	
達成率	80%	30%								
2	交差点改良工事等	箇所	目標	12	10	5				
			実績	3	10					
			達成率	25%	100%					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		4,473	16,013	12,568
財源内訳	一般財源	4,473	16,013	12,568
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,988	3,821	3,846
	所要人員（人）	0.50	0.50	0.50
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		8,461	19,834	16,414

市民・議会等から寄せられた意見	
●	市民及び議員から、毎年10件程度の道路反射鏡の新設要望が寄せられている。
●	重大交通事故の発生等に伴い、警察（警視庁及び東大和警察署）から対策協議が寄せられ、令和3年度及び令和4年度に1件ずつ対応している。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全施設整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 中原二丁目26番地先から27番地先までほか6箇所 3,410,000円 学園三丁目83番地先ほか1箇所 1,234,860円 中央二丁目13番地先 170,500円 学園一丁目50番地先から11番地先までほか2箇所 3,619,000円 伊奈平四丁目49番地先 187,000円 ●中原休息所ベンチ改修工事（中原二丁目38番地内 300,300円） ●中原休息所トイレ照明改修工事（中原二丁目38番地 49,500円） ●（主）63号線白線補修工事（大南二丁目163番地先から96番地先まで 499,565円） ●大南街路灯照明「建替え等工事（大南二丁目45番地先から47番地先まで7基 6,083,000円） ●道路反射鏡設置工事（3基 458,700円） 	全国的に通学路や幼稚園及び保育園付近で発生する重大交通事故が後を絶たないことから、市民及び議員からの要望は多い。また、対策費を要する案件も少なくない。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
安全で円滑な交通環境を確保するため、各種交通安全施設の計画的な整備が求められており、通学路合同点検等によって抽出された危険箇所に対する対策を講ずることから、今後も継続する必要がある。				
令和5年度は、令和4年度に実施した通学路合同点検の結果に基づく改修工事（主要市道第30号線及び主要市道第58号線交差点カラー舗装工ほか4箇所）を施行する。				
今後の方針	コスト			
成果	削減	維持	増加	
	向上			
	維持	○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防犯灯設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	照度が低い路線（箇所）にLED防犯灯を設置することにより、夜間に市民が安心して通行できる安全・安心のまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和4年度末現在で5,011基の防犯灯が設置されているが、一部の生活道路等は未設置である。 防犯灯の設置に当たっては、市民からの依頼を受けた議員要望も多く、順次新設している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	防犯灯設置工	箇所
			実績	15	6	
			達成率	150%	60%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		695	198	945		市民及び議員から、毎年10件程度防犯灯の新設に関する要望が寄せられている。
財源内訳	一般財源	695	198	945		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		1,493	963	1,715		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においては、防犯灯の設置について要望が少なかったため市で新設した防犯灯は6基となった。このほか、宅地開発等により市民が設置したもので市へ移管されたものが23基、撤去したものが2基となった。	東京都が管理する空堀川の管理通路に対する設置要望については、区間が長距離に及ぶため多額の費用を必要とする。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
市民及び議員からの要望に基づき、道路、住宅地、公園等に順次LED防犯灯を設置し、防犯設備の整備及び維持管理に取り組むことにより、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	登下校路防犯カメラ設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	学事 係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市立小学校の通学路における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱		
目的	学校、地域等が連携して行う登下校時の通学路における児童の見守り活動を補完するため、防犯カメラを設置し、安全確保の強化を図るものである。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	各地域において、学校、PTA又は地域により取り組まれている子ども見守り活動（登下校時の見守りやパトロール等）の補完を目的として通学路に防犯カメラを設置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	防犯カメラの新規設置台数	台
			実績	1	2	
			達成率	100%	67%	
2	通学路上の不審者情報件数	件	目標	0	0	0
			実績	15	19	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		12,730	1,276	951	
財源内訳	一般財源	404	176	951	
	国都支出金	12,326	1,100	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	688	693	
	所要人員（人）	0.20	0.09	0.09	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		14,326	1,964	1,644	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●二小 1台 ●七小 1台	防犯カメラの耐用年数は5、6年であり、屋外に設置してあることから故障しやすいため、今後、計画的に更新していくことが重要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
通学路における児童の安全確保のため、引き続き、学校や各機関と連携するとともに、通学路合同点検等の情報を踏まえ、必要に応じて防犯カメラの増設について検討を行う。																								
なお、令和5年度は、1台新規に設置する予定（設置場所は未定）。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		登下校路防犯カメラ設置事業	
所管部署		教育部 教育総務課 学事係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、通学路に防犯カメラを設置することにより、学校や地域等が行う児童の見守り活動を補完し、安全確保を強化するものであり、一定の意義が認められる。また、学校や保護者、警察等が連携して実施する通学路合同点検により把握した危険箇所を防犯カメラを適切に設置している点は評価できる。</p> <p>ただし、防犯カメラの維持管理に係る費用負担の軽減を図る観点からは、耐用年数による一律での更新を前提としないことや、技術的な動向を常に注視し安価な保守方法を検討しながら管理に当たることが肝要である。</p> <p>また、防犯効果や児童及びその保護者の安心感を更に高めるため、防犯カメラの設置状況等に係る周知の在り方について検討することを求めたい。</p>		